



775

2024
8.22

フォトコンテスト受賞作発表



NISSEIKAN NEWS 日精看ニュース

こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。

にっせいかん フォトコンテスト 受賞作発表

精神障がい者の日常を豊かにする写真の表現活動を応援し、表現を支える看護職を紹介する写真コンテスト企画に、今年もたくさんのご応募が集まりました。審査会では「個性豊かで見ごたえがある」「どの作品の背景にも、豊かな物語がうかがえる」といった声が。厳正なる審査を経て入賞した作品6点を、受賞者のインタビューと共に紹介します。

審査概要 作品の募集は、本誌とチラシ、ホームページ、公式 SNS で実施。応募総数 132 点を対象に、2024 年 6 月 3 日に Web 上で審査会を開催いたしました。

審査員 (敬称略) 吉川隆博(当協会会長 / 東海大学医学部看護学科)、工藤正志(当協会副会長 / 医療法人久盛会秋田緑ヶ丘病院)、中園明子(当協会副会長 / 公益財団法人慈愛会笹貫訪問看護ステーション愛の街)、西岡由江(当協会業務執行理事 / 社会福祉法人ファミーユ高知 高知ハビリテーリングセンター)、中庭良枝(当協会業務執行理事 / 一般社団法人日本精神科看護協会)、比嘉将和(当協会業務執行理事 / 沖縄県立宮古病院)、花田政之(当協会理事 / 医療法人白日会黒川病院)、彼岸華(過去受賞歴多数の殿堂入り作者)



受賞作は日精看のホームページにも掲載中。作品の画像を大きく拡大してご覧いただけます！



にっせいかん賞

「影まで仲良く横並び」

作者 / 平山久美 さん (写真左)

推薦者 / 岡部 慎 さん

(兵庫県・関西青少年サナトリウム)



推薦者・岡部さんのお話▶ この度は素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。撮影者の平山さんに代わって、病棟看護師長の私がお話をさせていただきます。

私は精神科看護歴 21 年、今の病院に勤めて 15 年ほどになります。平山さんは入院が長く、これまで 3 つほどの病棟でご縁があり、かわらせていただきました。今年の春、私の異動が決まったタイミングがフォトコンテストの応募期間と重なり、せっかくの機会だからと病棟担当の作業療法士さんと「外に出て写真を撮りにいきませんか」と募ったところ、6 人の患者さんが手をあげてくださいました。平山さんはそのお一人で、写真の中で並んでいる影のいちばん奥、車椅子に乗った患者さんです。

病院の敷地内に咲く桜をみんなで眺めているとき、ふと地面に目をやると、仲良く横一列に並んでいた影が。平山さんに声をかけ、一緒にシャッターを押していただきました。「立派な賞をとりましたよ」とお知らせすると、ニッコリとうれしそうに笑っていらっしゃいました。

私自身、これまでの看護師生活で患者さんと写真の活動をしたのは初めてでしたが、一緒に参加してくださった皆さんがとても楽しそうに没頭して好きな写真を撮っている様子が印象的で、私にとってもいい思い出ができました。ぜひ今後も続けて、院内全体でもできるように広げていきたいです。

ドリーム賞

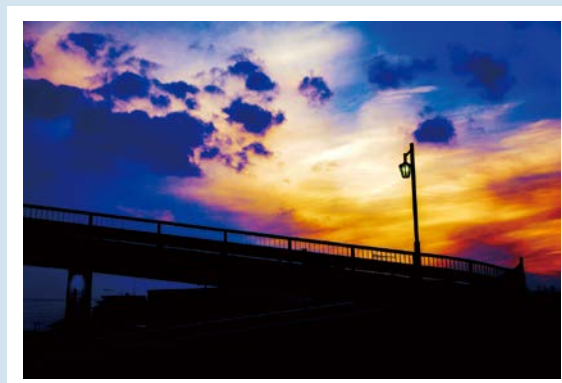
「さよなら夏の日」

作者 / Sato-C さん (神奈川県)



作者より▶ 選んでいただき、ありがとうございます。この作品は 10 年ほど前に、地元の国府津でたまたま通りかかって目にした風景を撮影したものです。夏の終わり特有の鮮やかな夕焼けを残したいと思いました。子どものころから好きな色「青」を強調して加工するのが、僕の表現の特徴になっています。

10 年前といえば、日精看主催のフォトコンテストに応募を始めたころです。受賞を重ねながら写真の活動も広がって、昨年には写真集も制作することができました。『My Sweet Days』という書名で amazon で販売中ですので、よかったら買ってください。同時に個展も開催し、エネルギーを使い果たしてしまい、今は少し休んでいます。元気になったら、またきれいな海を撮りに行きたいです。





ストーリー賞

「母の日のプレゼント」

作者／めぐみさん（大阪府）

作者より▶ 普段からスマホで写真を撮るのが好きで、出かけた先で見かけた花々や食べ物の撮影を楽しんでいます。いつも来てくださる訪問看護師からチラシをいただき、フォトコンテストを知りました。

どの作品を応募するか迷いましたが、「凝った写真よりも自分がうれしかったときの写真にしよう」と、今年の「母の日」に撮った写真を選びました。15歳の三男が私のために買ってくれた、一輪のカーネーションと、私の好物のリンゴジュースと不二家のモンブラン。なんてことのない日常の写真ですが、選んでいただけでうれしいです。息子に伝え、うれしそうな顔をしていました。これからも日常の幸せを写真や動画におさめていきたいです。



審査員特別賞（日本画 de 賞）

「静かな水辺」

作者／風野音さん（北海道）

作者より▶ この写真は5年ほど前、彫刻家のイサム・ノグチのオブジェで有名なモエレ沼公園に自転車で出かけて撮った作品です。早朝でとても静かな時間をそのまま表現したいと、「水墨画のような世界」を最初からイメージして撮影し、モノクロに加工して仕上げました。

実は昨年体調を崩し、5か月ほど入院して体力が落ち、最近では写真を撮る活動ができていませんでした。しかし、今回の受賞が励みとなり、また体調が回復したら撮影を再開したいという気持ちも湧いてきました。身近な自然を対象に、「大きな風景」を撮り、感動を与えられる作品を発表することが目標です。



ユニーク賞

「雨あがり」

作者／上野邦俊さん（写真右）

推薦者／中川一徳さん

（愛知県・地域活動支援センター「ワークルームかもめ」）



作者より▶ 雨があがった早朝、紫陽花の葉に集まっているカエルの大群を見つけて、1匹ずつねらって撮影しました。過去の実作もそうでしたが、私は小動物を接写で撮る作風が好きです。動く生き物をうまく撮影するには、根気強くタイミングを待って枚数を多めにシャッターを切ります。

最近、同じ地域活動支援センターの利用者仲間である中川さんと組んで、映像制作も楽しんでいます。テーマを決めて、イメージを膨らませて創作に没頭していると、睡眠障害のつらさも和らぎます。今年で64歳になりましたが、これからもますます多趣味に人生を楽しみたいと思います。

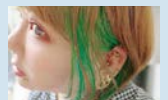
推薦者・中川さんより▶ 上野さんはもともとぬいぐるみ制作などの手芸も得意で、器用な方です。写真は題材選びだけでなく、タイトルの表現もうまいと感じます。映像制作では私が監督、上野さんが撮影・編集という分担で楽しんでいます。



アイデア賞

「夏が揺れる日を見たんだ。」

作者／のあさん（北海道）



作者より▶ 週に1、2回のお出かけの日一眼レフカメラを持ち歩き、「素敵だな」と感じた風景を撮っています。気に入った写真をプリントして、訪問看護に来てくださる看護師さんに渡していたところ、「応募してみたら？」と勧めてくださったのがコンテストを知ったきっかけでした。受賞の連絡をいただいたときには、うれしくてうれしくて涙が出ました。看護師や主治医の先生、夫もとてもよろこんでくれました。

作品は、昨年の夏に出雲大社相模分祠の夏詣に行ったときに撮ったものです。風が強い日で、天井から吊るされていた風鈴が一齐に揺れた瞬間にシャッターを切りました。季節を「視覚の動き」で感じられるのが面白いなと思って、このタイトルをつけました。受賞を励みに、今後は人物の撮影にも挑戦したいです。

看護を語る、伝える

当院は2015年に、法人共通のクリニカルラダーを導入、2022年に看護師キャリア開発ラダーに改訂しました。看護職の人材育成を考えたときにラダーに沿って教育をすればいいというわけではなく、組織の教育スタイルと個人の主体性をバランスよく考えていくことが必要だと考えています。

当院のラダーは5段階で、看護師は全員がレベルV到達を目標にしています(准看護師はレベルIII到達が目標)。レベルIV～Vの看護職は基本的な知識や技術はすでに備えているため、実践と学習のサイクルをどのようにつくるかが課題となります。

そこで、レベルIV～Vの看護師には看護を語り、伝えていく力をつけてほしいという願いから、法人の理念である「心に届く慈愛の看護」とはどのようなことなのか、実践したことが患者さんにどのように届いたのかを言葉にしてもらって“看護を語る”を強化しています。看護を語ることが“やらされ感”にならないようにスタッフが自分自身の看護を意識化し、達成感



お話をしてくださった方

右：伊地知綾美さん
(教育担当部長)
左：生見千鶴さん
(副看護部長)



病院 DATA



公益財団法人慈愛会谷山病院
(単科精神科病院)

【所在地】鹿児島県鹿児島市
【病床数】392床
【看護職員数】看護師 141名
准看護師 8名

やモチベーションの向上につながるように、管理者は普段の看護やその場面における想いなどを対話から引き出せるようなかわりが必要だと考えています。

谷山病院のクリニカルラダー ここがポイント!



ラダーレベルを組織や現場で活用する

当院では、レベルVは「豊かな感性：sensitivity」「高い倫理観：ethical view」「真の自律性：autonomy」「幅広い理論：theory」の4つの頭文字と慈愛会のJをとって「J-seaty ナース(ジェイシーティーナース)」と呼ばれています。管理者が不在のときに業務を代行したり、法人内を横断的に活動したりします。また日精看の役員など組織外の役割を担うこともあります。

J-seaty ナースに限らず、看護実践力が上がるとそれに応じた役割を担います。たとえば、新人看護師OJT研修を担当する場合はレベルIII～IVの力が必要、褥瘡専任ナースや感染リンクナース等はレベルIV以上の力が必要というように、役割の指標にラダーレベルを活用しています。適切な役割がつくことがモチベーションとなって学習につながり、学習したことが役割にもとづいた実践に活かされるというサイクルも生まれます。

また、委員会や院内研修の講師、リンクナースの役割をとることで、院内を横断的に活動する場面が増えるため、所属部署以外の管理者とともに、そのスタッフの実践力を確認できるようになります。多角的な視

点による人材育成は、スタッフのキャリア開発の支援として大切だと考えています。

病棟によっては師長がレベルIV～Vの人を中心にチームをつくり、部署の目標達成に向けた相談を日常的に行っています。このようななかで、スタッフにとっては「私もあのチームに参加したい」「私もあんな看護師になりたい」というようによいロールモデルができ、病棟全体で実践力を上げていく意識の高まりを感じます。ラダーレベルは評価に使うだけでなく常に身近に意識できる存在にしていくことも大事です。今後も組織運営のツールの一つとして、ラダーを活用していきたいと思います。



レベルVの役割や実践力を維持するためのプログラムを示したJ-seatyナースハンドブック



レベル認定証



井口千春(いぐち・ちはる)
医療法人社団健仁会船橋北病院看護副部長、精神科認定看護師、日精看継続教育部会委員(千葉県)

看護職個々がつまみ力を実践や教育、組織運営などにうまく活用されているのが印象的でした。いろいろな施設のラダー活用方法も聞いてみたいですね。

クリニカルラダーを導入している全国の施設をめぐり、その施設のラダーの特徴や課題をお伝えしていきます。ラダーの導入準備や運用方法、看護教育の情報収集などにお役立てください。



日精看版ラダーの詳細はコチラから!

鹿児島県・公益財団法人慈愛会谷山病院
第六回 ラダーレベルを常に身近な存在として活用
導入・運用の実際



木戸芳史(きど・よしふみ)
浜松医科大学医学部看護学科 教授
日本精神科看護協会 業務執行理事
(静岡県)



学術集会論文の
提出に関する
情報はコチラから!

#18 研究倫理審査 その① 被験者に対する保護・配慮

みなさんは研究倫理審査を受けることがなぜ必要なのかを考えたことはありますか? ざっくりいうと2つの視点があり、今回は①「被験者に対する保護・配慮」を説明します。

真っ先に思いつくのは、被験者が研究に協力するかどうかを検討するにあたって、なんらかの強制力が働いていないか、自由意思で参加できるように配慮されているかという視点です。

たとえば上司から「回答するように」と言われたり、回答したかどうかが研究者以外の誰かにわかるようになっていたり、説明を受けた後すぐに参加意思を示せと言われたりしたら、断りづらいですね。私たちは被験者の「研究に協力したくないなあ」という気持ちを最大限尊重するようにしなければなりません。一度は同意したけれど、やっぱり参加したくないと思ったときにどうすればよいか(同意の撤回)なども含めて、研究計画では被験者に強制力が働かないように配慮していることを研究倫理審査で説明し

ましょう。

個人情報適切な取り扱い方法も大切な視点です。収集したデータ(インタビューデータ、アンケートデータなど)は、誰が責任をもって、どこで、どのように管理するのか。データが漏洩しないような対策、研究終了後はどのように処分するのかなどを具体的に説明しましょう。

さらに、有害事象発生時(トラブルがあったとき)の適正な対応方法も大切な視点です。たとえば、病気の体験について患者さんにインタビューするときに、過去のつらい場面を想起して調子を崩した場合はどのように対応するのか、ある介入プログラムを実施して、もし調子が悪くなったらどのように対応するのか。このような予測と配慮を研究倫理審査で説明しましょう。

今回は、②研究計画の妥当性(その方法で研究目的を満たす結論が得られるのか)についてお話しします。お楽しみに。

地域から届けます! 精神科看護師のメッセージ

いま、地域で働く精神科看護師が増えて
います。みなさん、どのようなことを大切
にしながら実践しているのでしょうか。



訪問看護の
情報はコチラから!

第5回 被災地の意向に寄り添い、職種を超えた支援

被災者支援開始当初は、被災者が抱えるさまざまな問題(メンタルヘルスの不調・アルコール問題・経済困窮・孤立など)や、宮城県が行った応急仮設住宅入居者健康調査で、ハイリスクとなった被災住民への直接支援が私たちの業務の中心でした。生活再建が進み、地域が復興していくにつれ、保健師の後方支援や支援者に対してのメンタルヘルスに関する研修会開催など、直接支援から専門的立場からの助言などに移行してきました。

この10年間、地域での居場所づくりや研修会を通し、こころの健康やストレス対策に対する意識や精神障

活動の中心は、現地の職員

「みやぎ心のケアセンター」は、東日本大震災による被災者の心的外傷後ストレス障害(PTSD)、うつ病、アルコール依存、自殺などのこころの問題や、被災した精神障がい者の医療と地域生活を支援する拠点として、2011年に仙台市内に基幹センター、2012年に石巻市と気仙沼市に地域センターが設置されました。精神科医、看護師、精神保健福祉士、心理職、保健師など、多職種がチームで支援を行っています。

自然災害は、地域によって被災状況も求められる支援も違います。そのため、設立当初から、行政機関や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと、顔の見える関係を築きながら、地域においてどのような支援が必要かを一緒に考えていきました。

被災者支援開始当初は、被災者が抱えるさまざまな問題(メンタルヘルスの不調・アルコール問題・経済困窮・孤立など)や、宮城県が行った応急仮設住宅入居者健康調査で、ハイリスクとなった被災住民への直接支援が私たちの業務の中心でした。生活再建が進み、地域が復興していくにつれ、保健師の後方支援や支援者に対してのメンタルヘルスに関する研修会開催など、直接支援から専門的立場からの助言などに移行してきました。



内田朋子(うちだ・ともこ)
みやぎ心のケアセンター
石巻地域センター 地域支援員
精神科認定看護師
ASK認定依存症予防教育アドバイザー



地域生活では多角的な視点
が求められるため、看護師の
職種を超えた仕事ができ、と
ても勉強になりました。

害への理解の深まりを感じています。

人、支援、技術をつなぐ
接着剤として

当センターは2025年度には業務を終え、閉鎖します。残りの期間も地域の支援者が一段とスキルアップし、自信をもって業務にあたれるよう、事例検討や同行訪問などに注力しています。人や支援をつなぐ「接着剤」として、役割を果たしていきたいと思っています。

大きな災害が起こると、当センターのような拠点が立ちあがる可能性があります。精神科看護について学んでいる会員のみなさんの力を貸してもらえたら、被災地は本当に助かると思います。これからの時代において地域でみなさんの力が必要とされています。

精神科認定看護師実践報告

精神科認定看護師は全国のさまざまな施設で、質の高い看護実践に取り組んでいます。その現場での実践内容を紹介します。
*なお、倫理的配慮として個人が特定されないよう、事例には改変を加えています。

精神科認定看護師 JOURNAL

産後うつや精神疾患のある 妊産婦へ途切れない母子支援を

当ステーションは、近年の社会問題である「産後うつ」に着目し、沖縄県内初の精神・母子特化型訪問看護ステーションとして、2021年5月に開設しました。当ステーションには精神科認定看護師である私と助産師が多数在籍しており、双方の専門性を活かしたコラボレーションを強みとしています。

産後は新生児訪問・産後ケアがありますが、それぞれ回数が決まっており、必要な支援が途切れることがあります。継続した支援が必要なケースに関しては、行政からの連絡を受け、行政とともに途切れない母子支援を行っています。

父親への支援

母親への訪問時に母親から父親の育児状況を聴取し、疲労感やメンタルヘルスの不調を感じた場合には、家族支援として父親への介入を行っています。男性目線で父親への育児指導を行い、労をねぎらい、気持ちが出せるよう傾聴します。「産後うつ」は、全体の1割に「父親の産後うつ」があるといわれています。父親にもメンタルヘルス不調などが生じることがあります。母親には「ママ友」がありますが、父親には「パパ友」はいないのが現状です。そのため父親は気持ちを表出する場がなく、悩みを抱えてしまうことが多くあり

ます。また、社会的に男性の育児休暇の取得が進んでいますが、実際は何をしたらいいかかわらず、子どもの世話をできない自分に対して悲観的になり、うつ傾向を生じることが多くあります。

そこで、精神科認定看護師として父親と面談する時には、「①できていることを認める」「②傾聴」「③共感」を大切にしています。面談後は、「聴いてもらってよかった」「自信が出てきました」などの声が聞かれ、家族支援としての成果を得ています。実際に精神科受診へつなげ、服薬などにより症状悪化に至らなかった事例もあります。

そのほか、母親がASDやADHDである場合、こだわりや感情のコントロールができず、イライラを生じることがあります。また、既往歴に精神疾患がある場合、妊娠や出産など、人生における大きなイベントで再燃や表出する場面が多くあります。そこで、父親に対し、疾病教育や母親へのかかわり方に関するアドバイス、内服薬の説明などを行っています。父親自身がストレスフルにならないよう、解消法やコーピング法のアドバイスなども行っています。

助産師との連携

母親あるいは父親にメンタルヘルス不調の徴候があるときや、対応が難しいときには、助産師とともに同行訪問を行います。そのときは、看護師は母親のメンタル

ルヘルスに関するアセスメントを行い、助産師は乳房マッサージや育児指導などの助産業務を行います。その後のミーティングで、母親への声かけや対応の仕方、うつ状態の判断、向精神薬の薬効、母親の症状の観察やアセスメントなどを指導しています。

精神科認定看護師として、さまざまな場面で助産師とコラボレーションした訪問看護で、その人がその人らしく地域で安全に楽しく子育てを継続していただけるよう支援することが、私の役割と考えます。



喜久山 敦(きくやま・あつし)
訪問看護ステーションeight 所長
精神科認定看護師(沖縄県) (2018年登録)

看護師になり20余年。自分の看護を振り返り、「より精神看護に対する深い知識と専門性がほしい」と思うようになっていました。それが精神科認定看護師をめざしたきっかけです。



精神科認定看護師制度
ガイドブックや過去問題
集など情報満載

INFORMATION

精神科認定看護師制度

第19回 精神科認定看護師受講資格審査出願要項(一部抜粋)

精神科認定看護師制度は2025年度に改正し、精神科認定看護師教育課程もリニューアルします。

2025年度の本教育課程の受講生を募集いたします。

以下は、出願要項を一部抜粋したものです。出願要項の全文や詳しい情報などは、日精看オンラインをご確認ください。

1. アドミッションポリシー

本教育課程では、下記アドミッションポリシーに示すような人を求めています。

アドミッションポリシー

- ① 基本的人権を尊重できる人
- ② やさしさ・温かさを有する人
- ③ 自分の意見を率直に伝えられる人
- ④ 他者の意見に耳を傾けられる人
- ⑤ 精神科看護の実践において熱意をもって取り組める人
- ⑥ 困難な課題であっても、諦めず他者と協力して取り組める人
- ⑦ 社会や組織の動向に関心をもちつづけられる人
- ⑧ 現場を超え、地域や社会の課題に疑問をもち考えられる人
- ⑨ 精神科医療・看護・福祉に関する基礎的知識を備えている人
- ⑩ 基本的な文章表現力が備わっている人

2. 募集人員 80名

3. 出願資格について

2024/9/30時点で表1(1)～(2)の要件を満たす者

表1 出願できる者の要件

- (1) 日本国の看護師の免許を有すること。
- (2) 精神科認定看護師として必要な実務経験を積んでいること。
ここで必要な実務経験とは、看護師の資格取得後、通算5年以上の看護実務に従事し、そのうち通算3年以上は精神科看護実務に従事していること。

表2 精神科看護実務に該当する勤務経験の例

- 精神科病院、精神科病棟、精神科外来における勤務
- 精神科以外の病院や施設での認知症患者やせん妄、うつ状態の患者に対する看護
- 精神障がい者や認知症患者に対する訪問看護
- 精神障害、知的障害、発達障害等の施設や事業所における勤務
- 精神保健福祉センター、保健所、教育機関、一般企業等における精神保健に関する業務

4. 出願手続き

- (1) 出願期間 2024/9/2(月)～2024/9/30(月) (必着)
- (2) 出願書類 日精看オンラインにある出願要項を参照

5. 資格審査料

会員：22,000円(税込) 非会員：44,000円(税込)

6. 選抜方法

- (1) 選考方法 小論文、書類審査
- (2) 審査日程 2024/11/7(木)
- (3) 試験会場 日本精神科看護協会 東京研修会場
〒108-0075
東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル 7F
日本精神科看護協会

7. 審査結果

2024/12/6(金)、本人へ書面による通知。

合格者の受験番号をオンラインで公表。

出願に関する詳しい情報は、
日精看オンラインの
「精神科認定看護師制度」
にアクセス!



<https://jpna.jp/education/nintei>

【問い合わせ先】

一般社団法人日本精神科看護協会 認定事業担当
TEL: 03-5796-7033



研修会 PICK UP!

■ 発達障害の理解とケア

講師：長倉いのり

(京都市児童福祉センター診療所)



案内動画



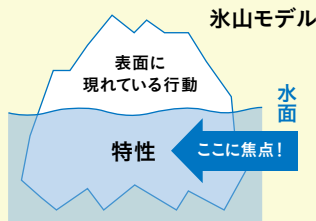
申し込みは
こちらから!

「発達障害という光の当て方」(支援の切り口)をもつことが役立つ!

本研修会では、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症を中心に、知的障害や学習障害にも触れながら学びます。発達障害を抱える人は、周囲の人たちと感じ方や考え方、行動の違いから、まわりの人たちに合わせることに苦労したり、生活のしづらさを感じていたりします。また、得意なこと、苦手なことの差が大きく、本人も周囲の人も困ることがあります。

この研修では、「冰山モデル」(下図)を用いながら、アセスメントの視点やかかわり方について考えていきます。冰山は水面上に現れているよりも、水面下のほうが大きいです。このモデルでは、見えている部分だけをとらえて考えるのではなく、物事の全体像をとらえるために水面下で何が起きているのかを考えるというものです。水面上に見えている行動の下には発達特性がある。水面上に見えているものよりも水面下に潜んでいるものが大切で、そこに焦点を当ててアプローチをするという考え方です。

- ① 水面上に見えている行動の下には、発達特性があります。
 - ② 水面上に見えているものよりも、水面下に潜む部分が大切で、そちらに焦点を当ててアプローチをします。
- * 水面下にアプローチするには、特性から行動の意味を理解することが必要。



「発達障害という光の当て方」という長倉先生の診療への構えや臨床的な解説から、支援の切り口につながる学びを得られる研修会です。児童・思春期を対象としている方だけではなく、さまざまな領域で活躍している看護職の方に受講していただきたい研修会です。

※本研修は2021年より再配信している内容です。2024年度で配信終了となります。

- 【ねらい】 発達障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる
- 【開催方法】 オンデマンド配信(120分)
- 【配信期間】 2025/3/7(金)まで
- 【受講料】 会員：2,200円(税込)
非会員：4,400円(税込)

「発達障害の理解とケア」を受講された方の感想をご紹介します!!

ケースが多く用いられており、想像しやすく理解しやすかったです。病棟で働いているのですが、入院中の看護につながる話もあったので、参考にさせていただきます。患者さんに対し、抽象的な質問を投げかけていたと振り返ることができたので、意識的に具体的な質問を行ってケアを実践していきたいです。

(2023年度受講 愛媛県支部
精神科看護歴3年)

日頃のケアを振り返るきっかけになり、恥ずかしながら患者さんに無理をさせている場面もあると気づかされました。本人に合った対応や環境を考えるために、冰山モデルを支援に活かしたいと思います。

(2023年度受講 大阪府支部
精神科看護歴15年)

たくさんあります!
日精看の魅力的な研修会!

レベルI~IIの方へ

アディクションとは何か、正しく理解し、それをふまえたケアを学ぶことができます。

■ アディクションの理解とケア

【開催方法】 オンデマンド(120分)

【講師】 波床将材(公益財団法人豊郷病院)



案内動画



申し込みは
こちらから!

看護管理のビギナーの方へ

診療報酬の仕組みを学び、診療報酬改定から政策の方向性を見てください! 2024年度の診療報酬改定の解説もしています!

■ 中堅ナースに必要な診療報酬の基礎知識

【開催方法】 オンデマンド(180分)

【講師】 吉川隆博
(東海大学医学部看護学科/
日本精神科看護協会 会長)



案内動画



申し込みは
こちらから!



学術集会の
情報は
コチラから！

INFORMATION

学術集会

第31回 日本精神科看護専門学術集会 in 山口

会場：海峡メッセ下関（山口県下関市）下関駅より徒歩7分

会期：2024年10月26日（土）～27日（日）

事前申込期間：2024年8月1日（木）正午～9月23日（月・祝）

参加費がお得になる事前申し込み手続きをぜひご利用ください。
申込方法と申し込みのご案内は学術集会専用HPをご覧ください。
<http://jpna-gakujutsu.jp/senmon/>

テーマセッション

■ 行動制限最小化に向けた取り組み

土井優太郎
（独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター 副看護師長
精神科認定看護師）

■ 倫理的な組織文化にするための取り組み

小川弘枝
（地方独立行政法人埼玉県立病院機構埼玉県立精神医療センター
精神科認定看護師）
土井優太郎
（独立行政法人国立病院機構 賀茂精神医療センター 副看護師長
精神科認定看護師）

山口県支部記念式典のお知らせ

10/25（金）夕方には、山口県支部記念式典、マジック界のオリンピック「FISM」で世界3位となった高重翔さんのマジックショーや映画『オレンジ・ランプ』のモデルとなった丹野智文氏による市民公開講座を予定しています。専門学術集会と併せて、ぜひご参加ください。参加費は無料です。直接、4F イベントホールにお越しください。

ご当地情報

温泉街を楽しむ



（左）白狐の湯
（右）山口名物「ういろう」

山口県中部に位置する山口市には、山陽路随一の湯量を誇る湯田温泉があります。けがをした白狐が傷を癒やしたという伝説が残る湯で、“白狐の湯”とも呼ばれています。さらに美肌の湯としても人気があり、街の中で足湯もできる、温泉になじみの深い街です。

温泉街では山口を代表する“ういろう”が楽しめます。原料にわらび粉を練り込んだプルプル食感と水羊羹のようなツルツとした口当たり。甘さ控えめの上品な味わいを、ぜひお土産にもどうぞ。

山口県支部委員 近藤雅美
手塚 泉

研究倫理審査をご活用ください

研究倫理委員会等を持たない日精看会員施設の研究の倫理審査を行っています。日精看の倫理審査委員が審査をいたしますので、研究倫理委員会等を持たない施設にご所属の方は、この機会にぜひご活用ください。

共同研究マッチングのご利用方法

会員であれば無料で研究者とマッチできる共同研究マッチング。利用方法や利用手順は、マナブルに掲載しておりますのでご確認くださいませ。

※ Google スプレッドシートを使用するため、Gmailが必要となります。

看護研究助成費の公募

日精看は、精神科看護の学術の向上に資する目的で研究助成費の交付を実施しています。次の要領により交付対象となる研究を募集します。研究助成費交付規定・応募書類は日精看オンライン「学術集会・研究」のページを確認してください。

【応募資格】 研究代表者および研究分担者は
会員（会費納入済み）に限る。

【研究の課題】 精神科看護の学術向上に資するもの。

【助成金】 30万円を限度とする。

【研究期間】 承認の日から2年以内とする。

【公募期間】

2024年9月1日（日）～10月31日（木）

【採否通知】 2025年1月下旬ごろに通知を予定。

【応募資格】 下記メールアドレス宛に応募書類をお送りください。
gakkai@jpna.or.jp

※研究助成費交付規定をよくお読みいただき、応募書類をご送付ください。

発音論争?! in 熊本

6月28日(金)に開催した式典に、くまモンが来賓として出席してくれました。私も含め、くまモンを直接見るのが初めてとなった表彰者、参加者は感動していました。私はステージ上でくまモンを見ることができましたが、出番待ちのくまモンもかわいくてたまりません。

熊本に行く直前にくまモンの発音に関する論争があったことを知りました。「くまモン」を発音するとき、最初の「く」にアクセントを置くと、熊本(くまもと)と発音するときと同じように、全体を平たんに発音するのと、どちらが正しいのかという論争です。ネットで調べてみましたが、どうやらテレビ局やアナウンサーの



©2010 熊本県くまモン 2024/6/28

なかでも二分しているようです。このことを研究している学者もいて驚きました。学術集会1日目のウエルカムレセプションで、どちらの発音をするのか、参加者に手をあげてもらいました。結果は6対4で「く」にアクセントをつける人が多いようでした。私もその一人ですが、公式見解がないため、謎のままです!

看護の世界では時代とともに読み方が変わってきたものがあります。たとえば夜勤者の申し送りで、「今朝」を「こんちよう」と発音する人が増えてきました。私が臨床にいたころは100%「けさ」と発音していましたが、周囲をサーチしたところ、地域性や病院、病棟文化も影響しているようです。個人的な見解ですが、「こんちよう」と発音したときのほうが、こなれたオーラ漂う看護職になっているような気がします。



吉川隆博
(きっかわ・たかひろ)
日本精神科看護協会
会長

第49回 定時総会報告

第49回定時総会は、2024/6/22(土)品川区立総合区民会館「きゅりあん」において開催されました。146名中99名の代議員の方が会場にお集まりいただき、議決権行使数は40個でした。理事解任における臨時総会の開催について、緊急動議が発せられました。

書面および総会議場における集計は、下記のとおりとなりました。



議案	賛成(書面)	反対(書面)	無効/棄権	承認に必要な数
第1号議案 2023年度事業報告および 決算報告 2023年度監査報告	98(40)	0(0)	8	出席者の1/2
第2号議案 2025年度正会費の額について	98(40)	0(0)	8	出席者の1/2
第3号議案 2024年度役員報酬上限額について	99(39)	0(1)	7	出席者の1/2
第4号議案 (緊急動議) 理事解任における 臨時総会の開催について	83	2	14	

*逝去した役員が退任となり、定款第25条に定める理事定数に欠員が生じたため、書面決議による臨時総会を開催することが会長より提案された。
*第4号議案は参考議決である。

代議員立候補者の公募

一般社団法人日本精神科看護協会定款第12条、代議員選出規程第6条2項にもとづき、代議員(令和7・8年度任期)の候補者の公募を下記のとおり告示します。

【代議員立候補の公募期間】2024/10/1(火)～11/30(土)

【公募受付先】一般社団法人日本精神科看護協会本部事務局
選挙管理委員会担当

第49回 日本精神科看護学術集会を開催しました！

2024/6/28(金)～29(土)、第49回日本精神科看護学術集会を熊本県で開催しました。参加者は1052名でした。今回は、人的資源開発をテーマに、福井トシ子氏を講師に迎えた基調講演、恒例となった第4回精神科看護 CONGRESSに加え、支部企画では水俣病公式確認から68年を迎えてと題した藤野紘氏による講演もあり、多くの演題でにぎわいました。

来年の学術集会は兵庫県で2025/6/6(金)～7(土)に開催します。ぜひお越しください！

28(金)には、初めてのウエルカムレセプション(右の写真)を開催し、ご当地の事業所のお菓子を飲み物を片手に、仲間同士の交

流ができました。熊本県支部による進行で、名刺交換、勝者への景品の授与等による楽しい出会いの場が提供され、新たなつながりが生まれました。



基調講演を聞く参加者



ウエルカムレセプションの様子

2024年度 会長表彰

第49回日本精神科看護学術集会において、2024/6/28(金)、式典を開催いたしました。多くの来賓の方にご列席いただき、また、熊本県営業部長兼しあわせ部長のくまモンも駆けつけてくださり、功労者3名、優良会員22名の表彰を行うことができました。

【功労者表彰】

岩手県 西館 均(一般財団法人岩手済生会三田記念病院)
 広島県 馬明康宏(Fusion株式会社セノテ訪問看護広島ステーション)
 愛媛県 得本 等(一般財団法人創精会松山記念病院)



式典で表彰を受けた方々

©2010 熊本県くまモン

【優良会員】

岩手県 菊地 誠(社会医療法人みやま会盛岡観山荘病院)
 秋田県 渡部 州一(医療法人久幸会今村病院)
 山形県 丸山 孝(山形県支部会員)
 埼玉県 神保 忍(社会福祉法人恩賜財団済生会支部、埼玉県済生会鴻巣病院)
 東京都 相馬 厚(医療法人財団赤光会斎藤病院)
 神奈川県 福岡 透(医療法人社団青木末次郎記念会相州病院)
 山梨県 塩沢 健雄(特定医療法人南山会峡西病院)
 愛知県 白鳥 浩二(医療法人生生会松蔭病院)
 三重県 齋藤 耕平(JA三重厚生連鈴鹿厚生病院)
 京都府 寺谷 幸夫(医療法人栄仁会宇治おうぼく病院)
 大阪府 竹川 亮(大阪精神医療センター)
 兵庫県 市川 研吾(医療法人実風会新生病院)
 奈良県 森脇 崇(株式会社光陽こころの訪問看護ステーションひなた)
 和歌山県 森 真喜(医療法人宮本病院)
 島根県 妹尾麻理子(医療法人コスモ会奥出雲コスモ病院)
 岡山県 原 直明(一般財団法人河田病院)
 広島県 藤井 陽子(医療法人社団緑誠会光の丘病院)
 山口県 楯野由美子(医療法人和同会片倉病院)
 愛媛県 酒井 秀樹(公益財団法人正光会今治病院)
 福岡県 有本 妥美(医療法人済世会河野名島病院)
 長崎県 才本 孝徳(医療法人さざなみ鈴木病院)
 沖縄県 伊敷 真榮(医療法人南嶺会勝連病院)

日精看ニュース No.775 2024(令和6)年8月22日発行

編集：宮本恵理子、鈴木 庸/デザイン：TAKAIYAMA inc./ 運営：コッヘル/ 発行人：吉川隆博/ 発行者：一般社団法人日本精神科看護協会
 日本精神科看護協会 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル7F
 TEL 03-5796-7033 / FAX 03-5796-7034 / E-MAIL info@jpna.or.jp

『日精看ニュース』偶数月22日発行 | 1部200円+税 ©日本精神科看護協会 2024 | 本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます

「日精看オンライン」は
パソコンでもスマホでも

➤ jpna.jp



支部クロストーク

栃木県支部 × 鳥取県支部

鳥取県支部 支部長
高田久美さん
南部町国民健康保険
西伯病院・地域在宅
医療部長



栃木県支部 事務局長
(前支部長)
鈴木太さん
医療法人誠之会氏家
病院・元看護部長



鳥取県米子市出身。看護学校卒業後、南部町国民健康保険西伯病院に入職。一般科病棟勤務を経て、精神科病棟で長期入院者の退院支援に取り組む。2005年に精神科認定看護師資格を取得し、翌年に鳥取大学大学院看護学分野修士課程修了。2024年4月、訪問看護ステーション所長、副看護部長を兼務しながら、地域在宅医療部長として着任する。2022年度より鳥取県支部長。

栃木県出身。1981年、医療法人誠之会氏家病院入職(本年4月末に退職)、同年准看護学校入学を経て1983年に准看護師として病棟勤務。宇都宮医師会看護専門学校で看護師資格を取得し、2000年より病棟勤務、病棟師長。2004年より看護部長・日精看栃木県支部長。今年度より事務局長。会員歴40年。会員歴50年に向けて精進中。趣味は音楽とコーヒー。

鈴木 私は昨年度まで16年栃木県支部長を務めまして、今年度から事務局長として支部活動に携わっています。

高田 私は支部長になって3年目ですが、支部活動にかかわる前から、「病院の中で行っている精神科看護の実践を、地域にも広げて貢献していきたい」という気持ちで強く、精神科認定看護師の資格を活かして講師の活動をしたり、県内の他団体との連携に取り組んだりと積極的に動いてきました。支部長になってからはよりダイナミックな活動ができそうだと意欲が増しました。やる気はありますが、まわりの方々に暑苦しく思われていないかと多少心配な気持ちもあります(苦笑)。支部長の任期は通常は2年で交代なのですが、2期目も続投することになりました。

鈴木 熱いことはいいことですよ(笑)。私も「つながりづくり」を積極的にやってきました。

精神科看護に携わる仲間はもちろん、日本看護協会や学校、自治体など県内の他団体との協力的構築をめざしてきましたし、それによって自分自身の世界も広がったと思います。この「つながりづくり」は日精看会員の皆さんにも勧めていて、研修会の最後には必ず「愚痴でもなんでもいいので、隣のひととしゃべってください」と伝えてきました。研修会の主目的から外れるかもしれませんが、困ったときに助けあえるネットワークを広げる機会への提供も、日精看の支部としての大事な役割だと思っていたからです。私自身も、支部活動を通じて深く広いネットワークを築けたことは大きな糧になりました。

高田 日精看の支部活動は、成長につながる出会いのチャンスに満ちているなと感じます。私も支部活動にかかわり始めたころ、経験豊富な先輩方が「鳥取県の精神科医療の質を高めたい」という目的に向かって、ころを一つに奔走する姿に感銘を受けたのを覚えています。支部活動の一番のやりがいはここだと思えます。今は自分が若いナースに希望を与えられる存在でありたいと思っはいるもの、なかなか難しいなと悩んでいるところ、**鈴木** 何について悩んでいらっしゃるのですか？

高田 「支部長」の大先輩である鈴木さんにぜひ伺ってみたいのは、どうしたらうまくまわりを巻き込んでいけるかという点です。支部役員のみならず一緒にアクションを起こして、みんなで成果を出していきたいのですが、それぞれに本業も忙しいですし、事務局はすでに多くの業務を抱えている様子で……。私の頭の中にはアイデアがどんどん浮かぶのですが、「じゃ、誰がそれをやるの?」という壁に当たってしまうんです。

鈴木 たしかにそういうジレンマはありますね。何を始めるにも、連絡調整を伴う事務作業がスムーズに進まなければ実現しませんからね。

高田 新たな発案をすれば新たな業務が増えますので、私が事務局の手伝いをもっとしたほうがいいのではないかと感じています。**鈴木** 実は私も同じことを考えて、事務局長を引き受けたんですよ。しかし見るのとやるのは大違いで、今まさに四苦八苦しています(笑)。私もうまく実践できていませんのでアドバイスはできませんが、支部長の立場から事務局をサポートする方法はいろいろあると思いますよ。**高田** どういうサポートをするかという思われませんか？

鈴木 役割分担を明確にすることが大事ですよ。事務局長が内部の運営に集中できるように、対外的な連絡調整は支部長が担えたら、かなり助かるのではないかと思います。しかし、ここまでお話を聞いて、高田さんは相当がんばっていらっしゃると思いますよ。意気込みが鳥肌が立ちました。

高田 病院の外に目を向けると、いろいろできることが浮かびます。出前講座や、地域支援者・他職能団体との研修など地域のために精神科看護が貢献できそうなことはたくさんあるので、私は「みんなに」にこだわりたいです。そのためにできるサポートはなんでもやりたいです。

鈴木 これまで培ったネットワークを生かして、「この企画は、あの先生を頼るといいよ」など橋渡し役を買ってでるとよさそうですね。以前ある大学の先生から「看護師や保健師などさまざまな立場で地域のために動いている人はいるけれど、つながっていないからもったいない。点と点を線にして、さらに面にできると大きな成果につながるはず」と助言をいただいたことがありました。まさに「つながり」がリーダーの役目なのかもしれませんね。

高田 そうですね。仲間を増やせるようにがんばります。ありがとうございます。